



たろはな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
JAPANESE
BOY SCOUTS ASSOCIATION
SHIZUOKA PREFECTURE
CONFEDERATION



富士章受章者 県知事表敬訪問



海野恭丞さんの代表挨拶



静岡県知事 川勝平太



記念盾を受け取る飯田哲也さん

CONTENTS

令和5年度「富士章受章スカウト」県知事表敬訪問…2
 令和5年度「富士章」受彰スカウト喜びの言葉……3
 能登半島地震募金活動……………4
 静岡⇄シンガポール「国際交流」再開……6
 集え!B・Pの元へ!～伊豆地区BP祭～……………7
 三島第14団 能登半島地震義援金募金……………7
 磐田地区「B・P祭」……………8
 掛川第2団 介護のお仕事体験……………8
 浜松第30団ビーバー隊
 「ビーバーにんじゃ」、ブラウンシー島へ走る!……………9

第14回 若き指導者
 富士宮第22団ボーイ隊 隊長 松田 孝雄……………10
 ビーバーだより……………11
 カブつうしん……………11
 ボーイ通信……………12
 指導者だより……………13
 各章に向かって、がんばろう!! 受章者紹介……………14
 「友情章」おめでとう11名の仲間……………14
 マスコミコーナー……………15
 お知らせコーナー……………16

令和5年度 「富士章受章スカウト」県知事表敬訪問

■2024年3月29日(金) ■静岡県庁 東館5階 特別会議室



県庁前集合写真

令和5年度の富士章スカウトの静岡県知事表敬訪問が行われました。受章スカウト5名(1名欠席)と小林透理事長ほか県連役員が出席しました。受章スカウト代表として海野恭丞さんが川勝県知事に「富士章を取得するために協力頂いた仲間、適切に対応してくれた指導者、そして両親に感謝します。」と喜びと将来への決意を伝えました。この後、静岡県連盟の連盟長でもある川勝県知事から受章記念の盾がスカウト一人一人に手渡され、出席者全員の記念撮影が行われました。



小林理事長挨拶



川勝県知事



加藤至 受章



佐野雄一 受章



盛山文部科学大臣と岸田首相

また、前日の27日に4名が首相官邸に、25日に2名が赤坂東宮御所参殿に秋篠宮皇嗣殿下を表敬訪問し全国代表として参加致しました。

岸田総理は、受章者の皆さんに対し「これからの社会を創るのは、若い皆さんです。これまでボーイスカウト活動を通じて養った精神や力を土台にしてそれぞれ人生の困難に立ち向かって、それぞれの夢を追い求めていただければと思います。素晴らしい人生を歩まれることを心から期待しています。」と、励ましの言葉を送られました。



弥栄



写真提供:ボーイスカウト日本連盟

令和5年度 「富士章」受章スカウト 喜びの言葉

＼受章したみなさん、おめでとうございます！＼



飯田 哲也 伊豆地区 三島第5団

これまで私は、先輩たちの姿を見て自分の目標を決め、プロジェクトや奉仕活動、各ジャンボリーへの参加など多くの経験をしてきました。目標の一つであった富士章を取得する過程において、団の方々や両親、スカウトの仲間たちの支えによって苦勞を乗り越えることができました。お世話になった皆さんに感謝申し上げます。これからは富士スカウトとして、先輩たちのように後輩の手本となり、これまでの感謝の気持ちとして、所属する団や地区への奉仕をしていきたいと思ひます。また、知識を蓄え経験を積む事によって、自己を高め、活躍できる場を広げていきたいと思ひます。



塩崎 一生 沼駿地区 裾野第3団

この度、富士章を取得する際の様々な出来事の中で、隊長達や家族のサポートを強く感じました。これまでも多大なる助けがあったからこそ、今もこの活動を続けられているのだと思ひます。自分一人では辿り着けなかった目標を達成できたことに、感謝が絶えません。挑戦していく中で身に付けた知識や技術は数多く、多くの人と関わりの中で得られた経験は、人生においても貴重なものとなりました。より良いスカウトを目指すとともに、後輩スカウトたちに真摯に向き合い、少しでも支えていける様に精進します。教えられる側から教える側になったことでより一層の責任感を持ち、感謝の気持ちを忘れずにこれからの活動に励んでいきたいです。



雪山 佳寛 浜松地区 浜松第30団

この度、栄誉ある富士スカウト章を受章できたことは指導者や家族、仲間の支えがあったからです。ありがとうございます。ボーイスカウト活動と勉強や部活動などを二兎も三兎も追うことは大変困難なことでした。しかし、この苦境が私の計画性を大きく伸ばし人間的にも成長することができました。コロナ禍というボーイスカウト活動への情熱が下火になる時期もありましたが新しい活動形式を模索することにより何とか乗り切ることができました。私はまだ富士章取得という一つのチェックポイントを通過したにすぎません。自分が得た経験を伝えるとともにこれから訪れる様々な山を越え、より良い社会人になるという山の頂点を目指して自己研鑽に努めていきます。



加藤 至 島田地区 金谷第1団

ずっと憧れてきた最高峰である富士章を取得でき、大変喜ばしく思ひます。課程実施中は、感染症の流行でキャンプ等の活動が制限される中、スカウト同士の集会にとらわれない、普段の生活のなかで、スカウトとしてできることを考える期間でもありました。富士の名に恥じぬよう私だからこそ解決発見できる課題に取り組み、私ならではの、唯一無二のスカウティングを体現することで、ここまでお世話になってきたコミュニティや社会をよりよくする力のひとつになりたいです。



佐野 雄一 富士宮地区 富士宮第25団

活動を続けてきて約12年、ようやくスカウト最高の章である、富士スカウト章を取得できました。中学、高校と勉強や部活動に追われ、スカウト活動に対し何度か心が折れかけました。ここまで来れたのは指導者の方をはじめ、周りの方々、そして家族の支えがあったことですので、感謝しています。この章を取るまでの経験、そしてこれからローパースカウトとなり得ていく経験からより良き社会人に近づけるよう精進し、これからもスカウト活動に励んでいきます。



海野 恭丞 静岡地区 静岡第22団

父はスカウト経験者であり、団の指導者をしています。そして、その父は富士スカウトです。これまで10年以上ボーイスカウト活動を続けてきて、常に富士スカウト章の取得が頭の中にありました。また、地区や県など団以外での活動に参加するにつれ、尊敬する先輩スカウトもでき、その方も取得していることがさらに取得を目指す理由となりました。

しかし、カブ隊やボーイ隊の頃までは多くいた同年代の仲間たちも、部活等様々な理由で退団することとなり、気が付けば、私一人になっていました。そのためモチベーションが下がった時期もありましたが、隊長をはじめ、これまでご指導いただいた皆様、団関係者の皆様、先輩方、同じ富士スカウトである父、家族、多くの人に支えられ、憧れだった富士スカウト章を取得できました。

これから、自分の夢を叶えるため大学へ進学しますが、新天地でもスカウト活動を続けたいと考えています。また、後輩スカウトには、活動の楽しさやこれまでに培ったスキル・経験を伝え、22団から多くの富士スカウトが生まれるように、今後も精進します。

能登半島地震の 募金活動を行いました



能登半島地震において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の安全が早急に確保され、救援、復旧活動が進むことを願います。ボーイスカウト静岡県連盟では被災者支援活動として、3月末迄に県内ボーイスカウト33団・隊(延参加人数817名)による募金活動を行い「204万323円」の義援金が集まりました。随時日本赤十字社等に寄付させて頂きました。





シンガポールでの
再会を願って、
「ハイ、チーズ!!」



静岡 ⇄ シンガポール

「国際交流」が再開しました!

静岡地区 地区委員長 松田 茂(静岡第27団)

2014年12月、シンガポール連盟のスカウト・指導者29名が静岡市を訪問しました。静岡地区との「国際交流」がスタートして10年になります。この間に静岡地区からの派遣3回、シンガポールからの派遣3回の”相互訪問による交流”を行ってきましたがコロナ騒動で2020年派遣計画が中止となり、交流事業も中断していました。



記念品の交換

コロナも沈静化し、昨年12月にシンガポールからスカウト達が久しぶりに静岡にやってきました。ベンチャー6名、ローバー8名、指導者3名(内1名はマレーシアの指導者)計17名が、12月17日～28日の日程で訪れました。イエティでのスキー体験、朝霧のマウンテンバイク体験・青木ヶ原の洞窟探検、そして浅間大社参拝、日本平・久能山東照宮の観光など静岡の自然・文化を堪能しました。

また、朝霧では富士宮地区のスカウトと、静岡市では静岡地区のスカウトとの交流会を開催し、歌やダンスに興じワッペンやチーフなどを交換して楽しい時間を過ごしました。交流会にはボーイ・ベンチャーだけでなく、ピーパーやカブも参加しましたが、一緒にゲームをして「国際交流」をしっかりと楽しんでいました。世界中にスカウト仲間がいる。言葉が通じなくても、スカウト仲間として通じ合える心・連帯感がある。今回の交流会で、スカウト活動の魅力・素晴らしさを改めて実感しました。次回は静岡のスカウトがシンガポールを訪問する予定です。



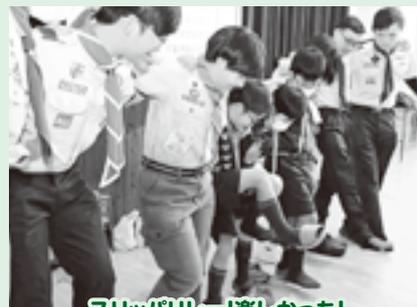
メインゲームは
バスタで作るマシュマロタワー!



シンガポール隊からのプレゼント撒き



羽根を蹴って遊ぶ「チャプター」



スリッパリレー!楽しかった!

集え!B・Pの元へ! ~伊豆地区BP祭~

■令和6年2月18日(日)
■伊東市観光会館



献灯

令和6年2月18日、総勢322名(スカウト193名、指導者111名、保護者18名)が参加し伊東市観光会館ホールにて伊豆地区BP祭が開催されました。式典がスタートし、各団各部門の代表スカウトがB・P(ベーデン=パウエル)肖像画の前で献灯・献花をする姿に日本連盟が100年以上続いてきたスカウト活動の重みを感じさせました。来賓に伊東市の小野市長・高橋教育長の出席を頂き挨拶を賜りました。またスカウト顕彰(スーパーカブ、菊章、隼章)、優秀スカウト表彰、友情章取得スカウト紹介、地区功労者表彰も行われました。第2部では伊豆ジオパークを紹介する講演会が行われました。



優秀スカウト表彰

日本連盟が100年以上続いてきたスカウト活動の重みを感じさせました。来賓に伊東市の小野市長・高橋教育長の出席を頂き挨拶を賜りました。またスカウト顕彰(スーパーカブ、菊章、隼章)、優秀スカウト表彰、友情章取得スカウト紹介、地区功労者表彰も行われました。第2部では伊豆ジオパークを紹介する講演会が行われました。



士山地区協議会長挨拶



小野達也市長



献花



地区功労者表彰

三島第14団 能登半島地震義援金募金

■令和6年2月18日(日)
■熱海駅前



三島

第14団は、伊豆地区BP祭の後、熱海駅前で能登半島地震義援金募金を行いました。多くの観光客に募金のお願いと、「ありがとうございます」と呼びかけたスカウトたちの大きな声は、熱海駅前広場に響き渡り、たくさんのご支援をいただきました。



磐田地区「B・P祭」

■令和6年2月18日(日) ■磐田市うさぎ山公園

2月18日(日)、磐田市うさぎ山公園にて令和5年度磐田地区B・P祭が催されました。開会式では本年度菊章を受章した磐田6団ボーイ隊高橋雅人さん・松浦悠真さん・宮本悠史さんが紹介されました。当初、天候が心配されましたが、各隊共に充実した活動を行うことが出来ました。



介護のお仕事体験

掛川
第2団

■令和6年3月22日(金)
■掛川東病院

掛川第2団 カブ隊隊長 西村 彩
春休み、ビーバー4名、カブ7名とボーイ1名の合計12名のスカウト達は市内の介護施設を訪問して介護のお仕事体験をさせて頂きました。

「造花を使った春のフラワーアレンジメント作り」では材料を手に、一人一人ご利用者様に声をかけていくスカウトたち。最初は緊張した様子のスカウトも、段々と笑顔になり、ご利用者様と目線を合わせ、そっと手を添えたりと優しい気持ちで交流できました。スカウトの明るく頑張る姿に涙する方もいらっしゃり、子供達が春と笑顔を運んできたのかなと感じました。

この体験を通して、お仕事の大変さや、誰かのために役に立てた事に喜びを感じることができたと思います。短い活動ではありましたが、スカウトの心には、きっと何か大切なものが芽生えてきたと信じております。





浜松第30団ビーバー隊 BP祭隊集会



「ビーバーにんじゃ」、 ブラウンシー島へ走る!

浜松第30団ビーバー隊 隊長 吉田 育子

2024年2月25日、浜松第30団ビーバー隊は、BP祭隊集会を行いました。まずは入隊式!新しい仲間が増えました!さあ、元気に「ビーバー忍者 ブラウンシー島をめざす」スタートです!(今期のテーマは、ビーバー忍者の巻。集会は修行なのです)。B-Pが書いた本、『スカウティング・フォア・ボーイズ』を参考に「君たちのこれからの役に立つ」ゲームで修行をし、ブラウンシー島をみんなでめざします!



ゲームは隊長のリュックの中身のキムス・ロープの綱渡り・風船リレー・風船バレー。これらは観察、推理、仲間との協力、運動の修行です。みんなで頑張らないとブラウンシー島はめざすだけで終わります。

でも、みんなで修行をこなし、ブラウンシー島というブルーシートに到着!ビスケットと



ミルクティーで英国のおやつを味わえました!これからもスカウティングで仲間と色々な経験をし、いつか自分の道を切り開き進む人になってほしいです。

浜松第30団ビーバー忍者の修行はまだまだ続きます!





富士宮第22団ボーイ隊 隊長
松田 孝雄

第14回 『若き指導者』

私はカブ・ボーイ・シニア(現ベンチャー)とスカウト経験はありますが、大学進学に伴い地元を離れて以来20年近くスカウト活動から離れておりましたが、偶然とも言えるスカウト時代の同期との再会から講習会に誘われ、指導者として昔お世話になった団へ戻ってきました。

長年のブランクはありましたが、離れている期間も、スカウト活動で培った経験・思い出は常に生活の中での要所所で生かされている気がしていました。

私の世代ではスカウト人口も多く、年代的にジャンボリーのような大会には参加できませでしたが、シニア(現ベンチャー)時には奉仕隊として大分での日本ジャンボリーへ派遣頂いたり、フィルモント(アメリカ)への派遣隊にクルーのリーダー(班長)として参加できました。もちろん自隊の活動でも普通では体験できないような様々な経験を本当に多く頂きました。

『かわいい子には旅をさせろ』。かわいいかどうかは別として両親がそのような感覚で放り出してくれたおかげと思うと、それはそれで有難く思います。

今現在、若き指導者と言えるほどには若くは無い私には同年代の人達のような『社会的ステータス』『経済力』『伴侶と呼べるパートナー』は三拍子揃って持ち合わせておりません。

が、他と比較しても遜色ないほどにハッピーだと思っていますし、自分の半生に満足しております。というのはスカウト活動でベースを培った『経験値』『スキル』の幅でいくばくかの自信があり、指導者としてボーイスカウトの活動に改めて関わりだしてから、指導者仲間やスカウト達から更なる『経験値』や子供から大人まで多くの『新たな出会い』を頂いています。それらは決して他に誇れるものではありませんが、自身にとっては大きな財産であり、名誉であり、幸福であります。これらは決して学校や塾だけでは得られないものと思います。

社会的に見本とはなり得ないだろう私ではありますが、これらの中に目に見えない財産を指導者として若い世代、子供たちに伝えていけたら良いなと言い訳をしながら、自身の財産を増やすべく、楽しみながらスカウト達と一緒に活動していきたいと思っています。





たくさんのおともだちと

浜松地区 浜松第1団 ビーバー隊 おおいし みゆ

わたしにはこうこうせいのおねえちゃんがあります。おねえちゃんにあこがれて、ボーイスカウトにはいりました。わたしのたいちょうはあかるくて、いつもたのしいかつどうをしてくれます。ほかのだんのスカウトともおともだちになれるよう、いっしょにかつどうもしてくれます。

これから、たくさんおともだちをつくりたいです。ほかのだんの子や、たいけんにきてくれる子ともなかよくなりたいたいです。おともだちがたくさんになると、もっともったのしくなるからです。たくさんの中かまとたすけあいながら、おとまりキャンプがしてみたいです。おねえちゃんみたいにベンチャースカウトになれるよう、ながくかつどうをがんばりたいです。

ビーバースカウトになって

浜松地区 浜松第1団 ビーバー隊 はやつ こはる

わたしはほいくえんのともだちにさそわれてビーバースカウトになりました。ビーバースカウトになって、知らない人もたくさんいてどきどきしたけど、おともだちといっしょにビーバースカウトをやって、だんだんなれてきました。

このあいだはみんなででんしゃにのって、アクティもりにいきました。てづくりのはがきで大ききなひとへお手ガみをかきました!!!!!!

みんなよろこんでくれて、とってもたのしかったです。



チャレンジブックを完修しました

島田地区 金谷第3団 カブ隊 孕石 寛武

ぼくはチャレンジ章が全部終わりました。最初は項目が多くてびっくりしました。途中無理だとあきらめかけた時もありましたが、それでも母が「次はこれをやってみたら?」と言ってくれたので全部終わらせることが出来ました。

ぼくが一番むずかしいと思ったのは手旗信号です。動画を見たりしましたが、覚えるのがむずかしく苦戦しました。ですがアドバイスをもらってもう一度挑戦してみると覚えることができました。

カブでの思い出はキャンプです。みんなとスタンツを考えたり、キャンプファイヤをやったからです。カヌーは最初こわくてドキドキしたけれど乗れるようになって楽しかったです。



ぼくがチャレンジ章をやろうと思ったのは

伊豆地区 伊東第5団 カブ隊 榎原 直輝

ぼくがチャレンジ章をやろうと思ったのは、興味がある章をいろいろ見つけたからです。ぼくは岩石や化石の図鑑をよく読むので、地質学者が面白そうだと思います。そこで、夏休みの自由研究で、伊東の松川で石を集めて調べました。川には10種類の石がありました。ヒスイやジャスパーという宝石も見つけることができました。



自然保護では、カブ隊で作った巣箱を庭の木につけてシジュウカラを観察しました。ヒナが生まれたときは感動しましたが、巣立つ前におそわれてしまいました。自然の中で生きるのはいへんです。二年目、巣箱を玄関の横につけたら敵が来なかったので、巣立つまで観察できました。

ぼくがチャレンジ章を全部やろうと思ったのは、いろいろなことを学ぶことができるからです。学者の名前がつく章はとくに難しかったですが、知らなかったことをたくさん知ることができたので、やってみてよかったです。

ぼくがチャレンジ章を全部やろうと思ったのは、いろいろなことを学ぶことができるからです。学者の名前がつく章はとくに難しかったですが、知らなかったことをたくさん知ることができたので、やってみてよかったです。



いろいろなトンネル

清水地区 清水第8回 カブ隊 橋本 大暉

ぼくは、1月の隊集会で宇津ノ谷峠のハイキングに行きました。最初に通った『明治のトンネル』は、とても暗くて少し怖かったです。でも、レンガが天井まできれいにならべてあって、びっくりしました。トンネルのまわりには、古い建物ものこっていて、すごいと思いました。

次に通った『大正のトンネル』は、横はばが広くて、かまぼこ型でした。壁はコンクリートで作ってあって、車が

今も通っていたので、トンネルのすみをみんなまで歩きました。

古い物を直したりする人は、すごいなと思いました。どのように修理しているのかがとても気になりました。また、調べてみたいと思います。



あこがれだった野営

富士宮地区 富士宮第21回 ボーイ隊 永田 隼人

8月にビーバー隊とカブ隊と合同のキャンプがありました。ボーイ隊になって初めての野営です。僕はカブ隊のころから、キャンプでボーイ隊が野営している姿を見て、とてもあこがれていたもので、とても楽しみでした。

現地に着いてからは、荷物用テントや自分用テントを張ったりで大いそがしでした。それから昼食を食べた後は、持ってきた竹を使ってロープワークをしました。竹は意外と重く少し大変でした。夕食後、キャンプファイヤーも終わり、いよいよテントで寝る時間になりました。最初は一人でテントで寝ることにすごく興奮していたけれど、静かすぎてだんだんとさみしくなっていました。それでもテントは一人用なので、しかたなく一人で寝ました。

以前はコロナで野営ができなかったけれど今回やっと念願が叶いました。少し夜はさみしかったけれど、色々楽しいキャンプでした。



朝霧野外活動センター寒中キャンプ

富士宮地区 富士宮第5回 ボーイ隊 渡井 創士

令和6年2月3日、「さ、寒い」車から降りたとたんに空気の冷たさに身が引き締まるのを感じました。寒中キャンプは嫌いですが、寒いのは苦手だからです。でも荷物を運んだり、作業をしているうちに、身体が温まってきました。

た。昼食の後、スケートのプログラム。5年ぶりです。長い年月がスケート靴のはき方を頭の中から消してしまっていました。いざリンクへ、心は上手く滑れるか不安でいっぱいでした。しかし身体は覚えてくれたようで、手すりにつかまらずに滑る事ができました。

少し慣れてきた時、インストラクターの方にかっこよく滑る技やコツを教えていただきました。うまく出来た時の達成感とはまらなく爽快でした。また次の技もやってみたくりましたが、足が痛くなってきました。スケートの時間は、あっという間に終わり、外に出ると、美しい夕焼けが、朝霧の森を照らしていました。足の痛みは、すっかり体から消えていました。



キャンプ場に戻ると寒くて冷たい風が頬にあたりました。山の日没は早い、火を焚き暖を取らないと凍えてしまいます。常に焚火に当たることでようやく身体が温まりました。夕食を食べ身体が温まっているうちにテントに入り、寝袋にもぐりこみました。

このキャンプを振り返ってみると、とってもいい思い出になりました。僕は春から中学3年生となり、来年の今頃は寒中キャンプに来れないと思うと、少し寂しい気持ちになりました。寒中キャンプは、最高だったし、後悔などはありません。ボーイ隊でしか、出来ない体験をさせてくれました、リーダーや親に感謝しています。寒中キャンプで感じた気持ちをたくさんの人に体験してもらいたいと思います。いろいろな人に味わってもらうため、ボーイスカウトが、ずっと続いて欲しいと思います。



指導者だより

感謝

磐田地区 袋井第4団 ビーバー隊 隊長 白梅 久仁子

ボーイスカウト活動に参加するきっかけは、22年前に3人の我が子が入団した事です。たくさんの野外活動を通して、我が子の成長する姿を身近に感じ、一緒に活動できる喜びを感じました。皆様の支援があり、我が子が退団してからも指導者として今に至っています。子供達と一緒に活動できる時期(カブ・ビーバースカウト)は短いと思います。保護者の皆様も一緒に参加して、一緒に楽しんでもらいたいです。子供達の笑顔は「宝」です。そして、将来スカウトから指導者になってもらえれば、自分が経験した事をしっかり伝えられると思うので、若い力に期待しています。



笑顔に包まれて

浜松地区 浜松第7団 副団委員長 辻村 寿子

1月は恒例のスケートと餅つき。スカウト達がスケートを楽しんでいる間に父母会と団委員は餅つきの準備。「今からスケート場出ます」と連絡がきたら少し急ぎましょう。スカウトが到着して手を洗ったら順番に並んでさあ餅つきだ。団委員さんがこねたらちび子の番です。ちょっと時間がかかってしまったから再び団委員さんの出番です。冷めるまえにつきあげなければ。きな粉、大根おろし、のり巻き、あん餅、寒空の下で食べる雑煮は最高。体験で遊びに来ていた子供が食べる食べる。

お父さんが「食が細くて普段はあまり食べないのに何度もお代わりして驚いている」と嬉しそうに話してくれました。そりゃあそうですね。初めての餅つき。こんなに大勢の人と一緒に外で食べるのも初めて。テンション上がるよね。石臼で大豆をすりつぶしてきな粉を作っている人もいます。「実家の倉庫に石臼があったから持ってきた」とカブ隊の副隊長さん。早速スカウトに囲まれました。食べる程の量ではできないけれど工程が楽しい。大人も子供もお腹いっぱい、心もほっこり。



初詣と募金活動

富士地区 富士第8団 ビーバー隊 隊長 井上 卓哉

富士8団ビーバースカウト隊は1月7日に市内厚原の本照寺で実施された「熱原祭」に初詣をかねて参加しました。祭のオープンを告げる威勢の良い太鼓の音の中、スカウト達は能登半島地震の災害義援金の募金活動をおこない、参詣者の皆様から多くの支援のお気持ちを頂きました。初めは太鼓の音にかき消されていた声かけでしたが、徐々に太鼓に負けないくらい大きな声が出せたのは、スカウトにとっても良い経験になったのではないかと思います。

募金活動の後は、お昼をとりながら、お年玉を握りしめて出店でのお買い物へ。投げ縄の景品をたくさん集めたスカウトや、美味しそうな食べ物を頬張るスカウト、それぞれの個性でお買い物を楽しみました。最後には、お寺のお坊さんによる水行を見学しました。大人は頭から水をかぶりますが、子供の参加者は、足に水をかけるとのこと。来年はスカウトみんなでチャレンジできるでしょうか？



鎌倉国際交流ハイキング

伊豆地区 三島第5団 団委員 斉藤 文彦

2023年12月2日(日)、三島第5団カブ隊は「鎌倉国際交流ハイキング」に参加しました。毎年鎌倉第2団が取り纏めをしている埼玉・東京・神奈川の各団およびアメリカ隊(横須賀米軍基地内)各団との交流の場です。

事前の組・隊集会では、イギリス出身の保護者から簡単な英会話もご指導頂きました。当日は早朝6時過ぎの電車でお発し、美しい日の出を眺めながら約2時間で鎌倉駅に到着しました。各隊集合後に合同組に分けられ、鶴岡八幡宮などの神社・史跡を巡るポイントラリーを楽しみながら鎌倉第2団の二階堂基地までをハイキング。途中うさぎ・しかスカウトの世話をし、果敢に米隊との交流にチャレンジするくまスカウトの成長振りを頼もしく思いました。

次回もスカウトの更なる成長が見られることを楽しみにしております。ご準備頂いた鎌倉第2団の皆様、ならびに当日お付き添い頂いた育成会の皆様には改めて感謝申し上げます。





各章に向かって、**受章者を紹介致します!** がんばろう!!

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

●**1級スカウト章**は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
伊豆	三島第5団	ボーイ隊	酒井 汐梨	2023年9月30日	富士	富士第10団	ボーイ隊	山下 舜稀	2023年12月23日
伊豆	伊東第5団	ボーイ隊	稲葉 早羽	2023年10月7日	富士	富士第10団	ボーイ隊	山本 叡華	2023年12月23日
伊豆	三島第5団	ボーイ隊	三戸 柚果	2023年10月15日	志太	藤枝第7団	ボーイ隊	桑原 光里	2023年9月11日
伊豆	三島第5団	ボーイ隊	遠藤 伊織	2024年1月8日	志太	藤枝第7団	ボーイ隊	宮内明日美	2023年9月11日
御殿場小山	御殿場第6団	ボーイ隊	佐藤 匡輝	2023年9月24日	島田	吉田第2団	ボーイ隊	木村 隆真	2023年10月31日
御殿場小山	御殿場第6団	ボーイ隊	勝又 平伍	2023年9月24日	島田	吉田第2団	ボーイ隊	澤入 亘	2023年10月31日
富士	富士第8団	ボーイ隊	瀧 大和	2023年5月28日	浜松	浜松第12団	ボーイ隊	大場 春輝	2024年1月17日

●**菊スカウト章**は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
御殿場小山	御殿場第5団	ベンチャー隊	金刺 瑞穂	2023年9月30日	富士	富士第8団	ボーイ隊	瀧 大和	2024年1月13日
磐田	磐田第6団	ベンチャー隊	高橋 雅人	2023年9月30日	静岡	静岡第22団	ボーイ隊	海野 杏奈	2024年1月18日
志太	焼津第5団	ベンチャー隊	村松 大雅	2023年9月30日	富士宮	富士宮第5団	ボーイ隊	大石 悠斗	2024年1月27日
沼津	沼津第1団	ボーイ隊	工藤 智輝	2023年10月12日	富士宮	富士宮第5団	ボーイ隊	勝間田 琴菜	2024年1月27日
沼津	沼津第1団	ボーイ隊	芦川 陽星	2023年10月12日	沼津	長泉第2団	ベンチャー隊	杉山 碧	2024年1月27日
静岡	静岡第14団	ベンチャー隊	小森 珠未	2023年11月11日	伊豆	大仁第1団	ベンチャー隊	矢田 久和	2024年2月7日
静岡	静岡第26団	ボーイ隊	佐塚 雄麻	2023年12月9日	伊豆	大仁第1団	ベンチャー隊	平井 拓実	2024年2月7日
磐田	磐田第6団	ベンチャー隊	宮本 悠史	2023年12月9日	伊豆	大仁第1団	ベンチャー隊	土屋 未来	2024年2月7日
磐田	磐田第6団	ベンチャー隊	松浦 悠真	2023年12月9日	静岡	静岡第10団	ボーイ隊	稲村 亜実	2024年2月7日
浜松	浜松第12団	ベンチャー隊	ケーラー 一郎	2023年12月16日	浜松	浜松第7団	ベンチャー隊	小桐 孝介	2024年2月24日
沼津	沼津第1団	ボーイ隊	市川 聡健	2023年12月22日	富士	富士第2団	ボーイ隊	杉本 陽向	2024年2月24日
沼津	沼津第1団	ボーイ隊	田久保 壮祐	2023年12月22日	富士	富士第8団	ベンチャー隊	藤田 葉月	2024年2月24日
富士	富士第2団	ボーイ隊	諏訪部 凜音	2024年1月13日	富士	富士第8団	ベンチャー隊	小野 涼大	2024年2月24日
富士	富士第2団	ボーイ隊	小谷 武蔵	2024年1月13日	富士	富士第8団	ベンチャー隊	早川 桜羽	2024年2月24日

●**富士スカウト章**

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
島田	金谷第1団		加藤 至	2023年3月18日	静岡	静岡第22団		海野 恭丞	2023年11月11日
沼津	裾野第3団		塩崎 一生	2023年3月24日	浜松東	浜松第30団		雪山 佳寛	2023年12月16日
富士宮	富士宮第25団		佐野 雄一	2023年11月11日	伊豆	三島第5団		飯田 哲也	2023年12月30日



おめでとう!! 11名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和6年4月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・地域連携委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
材津 陽太	伊豆	三島第5団 ビーバー隊	望月 椰生	静岡	静岡第14団 ビーバー隊
古屋 璃歩	伊豆	函南第1団 ビーバー隊	松並 愛菜	静岡	静岡第22団 カブ隊
森 煌生	伊豆	函南第1団 ビーバー隊	八木 悠貴	静岡	静岡第22団 カブ隊
露木 翔太	伊豆	函南第2団 ボーイ隊	橋ヶ谷 心優	志太	焼津第5団 ビーバー隊
露木 里緒菜	伊豆	函南第2団 カブ隊	竹下 朱瑠	志太	焼津第5団 カブ隊
前田 悠翔	伊豆	函南第2団 カブ隊			

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和6年1月~3月

【維持会員(敬称略)】 渡邊 聡 松田 茂 小城 茂子 北村 誠 井出 利恵
 瀧島 金吾 酒井 和人 久原 宗仁 杉山伊佐子 油井 和行 【マンスリー維持会員】
 平野 尚司 杉山 栄 BS静岡10育成会 BS清水地区 丸山 浩孝 小林 透
 森 記世 伊藤 正廣 川村 進 中嶋 正志 南條 順子 脇坂 英子
 柴田 尚道 BS浜松東地区委員会 山本 真一 小笠原妙香 佐野 愛子 渋谷 茂光
 和田 篤夫 松本 俊信 大川 靖夫 富田三代治 芹澤 秀樹 海野 誠



マスコミコーナー

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

ボーイスカウト 静岡第27団が寄託
 日本ボーイスカウト静岡第27団(松川愛樹団長)は15日、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「愛の都市訪問」に協力し、市内を寄託した。寄託は、幼稚園から高校までのメンバーと指導者約40人が静岡市内で健全活動を行い、健全な活動した。

令和5年12月17日 静岡新聞 掲載

能登地震被災者支援へ若者が募金活動
 雨空の下BSが呼びかけ 富士宮
 富士宮市の平イスクウト支部(支部長 藤原利雄)は15日、能登地震被災者支援活動の一環として、市内のBS(放送)が呼びかけ、若者が募金活動を行った。支部員が呼びかけ、募金活動を行った。募金活動は、市内のBS(放送)が呼びかけ、若者が募金活動を行った。

令和6年1月22日 静岡新聞 掲載

募金3万円寄託 日本ボーイスカウト静岡第30団(福野吉紀団長)は15日、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「愛の都市訪問」に協力し、市内を寄託した。寄託は、幼稚園から高校までのメンバーと指導者約40人が静岡市内で健全活動を行い、健全な活動した。

令和5年12月27日 静岡新聞 掲載

ボーイスカウト 原点考え 思い新た 伊豆地区「BP祭」
 伊豆地区のボーイスカウトは、伊豆地区「BP祭」を開催した。伊豆地区のボーイスカウトは、伊豆地区「BP祭」を開催した。伊豆地区のボーイスカウトは、伊豆地区「BP祭」を開催した。

令和6年2月19日 伊豆日日新聞 掲載

各国ボーイスカウトと韓国で交流 静岡の団員、市役所で報告
 世界スカウトジャンボリーでの活動報告を機に、韓国と交流した。静岡の団員、市役所で報告した。

令和5年12月28日 静岡新聞 掲載

おしらせコーナー

《 定型訓練 》

ボーイスカウト講習会 静岡第640回 浜松地区

- 日 時:令和6年5月12日(日)
- 場 所:浜松市立青少年の家
- 申込み:4月21日(日)まで
浜松地区 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第641回 御殿場・小山地区

- 日 時:令和6年5月26日(日)
- 場 所:御殿場市
東山コミュニティ共用施設
- 申込み:5月11日(土)まで
御殿場・小山地区 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第642回 富士宮地区

- 日 時:令和6年6月9日(日)
- 場 所:富士宮市
咲花区区民会館
- 申込み:5月25日(土)まで
富士宮地区 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第643回 伊豆地区

- 日 時:令和6年6月23日(日)
- 場 所:MOA大仁研修センター
- 申込み:6月6日(木)まで 伊豆地区 必着

ボーイスカウト講習会 静岡第644回 磐田地区

- 日 時:令和6年7月7日(日)
- 場 所:磐田市向笠交流センター
- 申込み:6月22日(土)まで 磐田地区 必着

WB研修所課程別研修 静岡第14回・VS13回

- 日時:令和6年6月2日(日)
- 場所:静岡県青少年会館
- 申込み:5月4日(土)まで
県連盟事務局 必着



県連盟定時総会・表彰式

日時:令和6年5月18日(土)
会場:あざれあ大ホール

ボーイスカウトへのお問い合わせ 入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(☎054-255-6185)まで
ホームページもご覧ください。http://bs-shizuoka.com

編集 日記

能登半島地震、被災地の安全が早急に確保され救援・復旧活動が進むことを願います。各地域でスカウト関係者が街頭で実施した募金活動に感謝致します。今回の「たちばな」は令和5年度富士スカウト顕彰知事表敬訪問と各地区BP祭を紹介致しました。上進者、新メンバーを迎えて新年度の活動が始まりました。「たちばな」も前年度以上に充実した誌面を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務所までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2024年4月
 発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
 〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
 県青少年会館内
 TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
 http://bs-shizuoka.com
 編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子
 印 刷 三富印刷株式会社
 静岡県浜松市中央区上新屋町30-1 TEL053-467-4678
 発行部数 2,660部